



与論小だより



学校教育目標：校訓「至誠」を胸に、主体的に考え、行動し、
互いに認め、高め合う子供の育成

学校・家庭・地域が一体となって

校長 荒殿 博昭

「校長先生、いいときに赴任されましたね。」今年よく言われた言葉です。今年は与論小学校創立150周年の記念すべき年です。この言葉には「縁がありますね。」という親しみを込めた気持ちや「大きな行事をやらないといけないから大変ですね。」という労りの気持ちが、また、「記念行事を成功させてくださいね。」という期待の気持ちが感じられました。そんな皆さんの思いを感じながら、12月13日、創立150周年記念式典・祝賀会の日を迎えました。



〔感謝状贈呈の様子〕

午前中の式典には、島内外から200名を超す出席者があり、式典開始前から会場は大盛況でした。久しぶりに会う人々との再会を喜ぶ姿や150年の歩みの写真パネルを見ながら思い出話に花を咲かす姿も見られ、式典に参加された皆さんが心から楽しまれていることにうれしい気持ちでおりました。式典では、まず始めに、この10年を中心に与論小学校へ多大な貢献をしていただいた皆さんに感謝状が贈られました。学校は、多くの地域の皆さんに支えられていることを再認識するとともに地域の期待に応える学校でありたいと思うことでした。

次に、沖実行委員長が式辞を述べられました。以下は、私が大変感銘を受けた部分です。

（略）一方で、少子高齢化が進み廃校も相次ぐ中、我が母校の重要性が再認識されています。教育において、知識の習得はもちろん大切ですが、情緒や心の安定も重要です。それは家庭や友達、周辺住民同士の「和」の中から生まれ、円満な人間関係や友情、ふれあいこそが最も大切だと言われます。

この記念行事の目的は、これまでの篤い先人の歩みに感謝し、児童や地域住民の一人一人が幸せを感じること、そして、輝く明るい未来へ向かって一歩一歩突き進む布石とすることです。将来へ向かって、お互いに切磋琢磨して参りましょう。



〔式辞を述べる沖実行委員長〕

令和5年に閣議決定された「第4期教育振興基本計画」では『ウェルビーイングの向上』が謳われました。「教育振興基本計画」とは国の教育政策全体の方向性や目標、施策などを定めたものです。『ウェルビーイング』とは「身体的・精神的・社会的に良い状態であることをいい、短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念」であると言えます。それは、「多様な個人がそれぞれ幸せや生きがいを感じるとともに、個人を取り巻く場や地域、社会が幸せや豊かさを感じられること」も含むと言えます。日本社会に根ざした「調和と協調」に基づくウェルビーイングを教育を通じて向上させていくことが求められているのです。沖実行委員長が話されたことは、まさにこのことだなと感じることでした。

今回の記念行事を通して、子どもたちは例年にない経験をし、感動を味わい、成長することができたと思います。学校にとっても環境整備や教育活動の充実を図ることができた貴重な機会となりました。これは、学校・家庭・地域が一体となって成し遂げた大きな成果です。教育は学校だけでなく、家庭・地域が一体となって取り組むことで、より充実することがよく分かります。今後とも子どもを真ん中に、学校・家庭・地域が一体となった教育を目指していきましょう。

最後になりましたが、記念式典・祝賀会を開催するに当たっては、PTAを中心とした実行委員会の皆様、前日から手作りのお菓子や漬物を準備していただいた皆様、講演をしていただいたPonちゃんこと岩元みさ様、何よりも心からお祝いしていただいた同窓生や地域の皆様など、本式典・祝賀会に関わっていただいた皆様に厚く篤く感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、保護者の皆様、地域の皆様には、本年中也本校の教育活動に対しまして深い御理解とたくさんの温かい御支援をいただき、誠にありがとうございました。新年も子供たちが安心と信頼感の中で健やかに成長していけるよう、職員一同力を合わせて取り組んでまいります。新年もよろしくお願い申し上げます。令和8年(2026年)が皆様にとってよい年になりますよう心よりお祈り申し上げます。

与論小学校創立150周年記念式典・祝賀会

12月13日（土）、与論島内外から200名を超える皆様にご参列いただき、与論小学校創立150周年記念式典・祝賀会が盛大に執り行われました。

記念式典では、本校のためにご尽力いただいた8名の皆様へ感謝状をお贈りしたほか、町長をはじめ4名の来賓の方々より祝辞を賜りました。最後は、全校児童が舞台上に整列して校歌を歌い、子供たちにとっても150周年の節目を刻む素晴らしい思い出となりました。

式典後には、5・6年生によるユンヌフトゥバ劇「もうひとつのアジニッチェー伝説」を上演いたしました。大勢の観客を前に緊張した様子もありましたが、最後まで堂々と演じることができました。午前の部の締めくくりには、走る冒険家Ponちゃんによる記念講演が行われました。日本縦断や南極マラソンなどの実体験を通じ、子供たちへ「チャレンジすることの楽しさ」を伝えてくださいました。

午後は、JAL様のご協力による紙飛行機教室や、島外からのお客様を対象とした与論島ツアーを開催しました。夜の祝賀会には180名の方々にご出席いただき、各団体の皆様による余興も相まって、150周年を祝う一日は盛会の中、幕を閉じました。

これまで本事業にご賛同、ご協力いただいた多くの皆様に心より感謝申し上げます。今後も記念誌の作成や倉庫建設など、150周年記念事業の完遂に向けて、実行委員、職員一同邁進してまいります。



全校児童で校歌斉唱



5・6年生「ユンヌフトゥバ劇」



お漬物・プチムッチャー



「Ponちゃん」記念講演



祝賀会「御前風」

1月 行事予定

8（木）3学期始業式

27（火）ヨロン海洋教育フェア（4年）

13（火）～14（水）

29（木）新入学説明会

鹿児島学力・学習状況調査（5年）

16（金）芸術鑑賞会 中学校入学説明会（6年）

【転出予定調査のお願い】

令和8年度児童数の把握のため、令和8年3月末に転出予定の方は
フォームから回答をお願いします。（QRコードから回答をお願いします。）

